

令和 6(2024) 年度東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻修士課程入学志願者案内

1. 出願資格

入学志願者は大学院出願資格（詳細は工学系研究科修士課程学生募集要項を参照）を有していなければならない。ただし、その専門分野および資格取得年次は問わない。
なお、令和 6（2024）年度の修士課程の入試は今回だけである。（年 1 回）

2. 希望指導教員と出願書類について

大学院入学者は指導教員のもとで研究を行うので、入学志願者は研究の指導を希望する教員名（第一希望、第二希望、第三希望、各 1 名ずつ）を、3 ページに示す指導教員の一覧から選択し、別紙 1・B 欄に記入すること。別紙 1 は出願時に、他の出願書類と共にアップロードすること。

建築学専攻の受験には以下を提出する必要がある。(1)については、工学系研究科に「提出書類等」と一緒に提出すること。(2)については、英語能力試験により提出方法が異なるので注意すること。

(1)「修士課程での研究について」：別紙 1・A 欄「修士課程での研究について」に、希望する研究テーマについて記述すること。合わせて、B 欄には希望指導教員を、C 欄には専門課題 II で選択する群に○を記入すること。

(2)「英語能力試験の成績証明書」：英語能力は受験者の提出する TOEFL、IELTS、TOEIC のいずれかの公式スコアで評価する（TOEFL の提出を推奨する）。スコアのアップロードによる提出期限は 2023 年 7 月 5 日午後 3 時必着とする。受験期限は定めない。提出するスコアは 2021 年 9 月以降に受験したものに限る。各公式スコアの提出方法を以下に示す。

TOEFL	TOEFL iBT、または TOEFL iBT Home Edition の公式スコアをアップロードする。スコアの提出方法は、工学系研究科が配布する「大学院入学試験外国語（英語）試験について（TOEFL スコア提出）」の指示に従うこと。
IELTS	IELTS Academic、または IELTS Indicator の IELTS 成績証明書 (Test Report Form) のデジタルコピーを、工学系研究科に「提出書類等」と一緒にアップロードする。IELTS 成績証明書 (Test Report Form) は、建築学専攻入試担当宛に 2023 年 7 月 12 日必着で書留郵便で郵送*1 する。7 月 12 日に届かない場合は受験資格を失う。
TOEIC	TOEIC Listening & Reading の公式認定証 (Official Score Certificate) のデジタルコピーを、工学系研究科に「提出書類等」と一緒にアップロードする。公式認定証 (Official Score Certificate) は、建築学専攻入試担当宛に 2023 年 7 月 12 日必着で書留郵便で郵送*1 する。Institutional Program のスコアも有効である。7 月 12 日に届かない場合は受験資格を失う。

*1：東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 入試担当 宛
〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1
封筒には、出願の受付番号も明記すること

3. 募集人員と入学時期

2024 年度の建築学専攻・修士課程の募集人員は 32 名である。なお、建築学専攻では、入学後の研究指導が特定の教員に偏ることを避けるため、教員一人当たりの受入人員に制限を設けている。合格者の入学時期は、通常、2024 年 4 月である。なお、工学系研究科修士課程学生募集要項にも記述があるが、2023 年 9 月までに大学を卒業あるいは卒業見込みであれば、2023 年 10 月に入学することが可能である。

4. 選抜方法

以下に示す筆記試験及び口述試験を行い、受入予定者を選抜する。

(A) 筆記試験

試験科目	試験時間	適 用
1. 外国語 ^{※1}		英語 TOEFL、IELTS、TOEIC のいずれかの公式スコアを所定の方法で提出。
2. 専門科目 ^{※1}		
①専門課題Ⅰ	3 時間	①は建築学に関する基礎的な課題である。
②専門課題Ⅱ	3 時間 または 4 時間	②については次の 4 群の中からいずれか 1 群を選択して解答する。選択する群を、出願時に別紙 1・C 欄に記入すること。 第 1 群 建築設計課題 (4 時間) 第 2 群 建築計画・建築史・構法系課題 (3 時間) 第 3 群 建築環境系課題 (3 時間) 第 4 群 建築構造・建築材料系課題 (3 時間)

※1 外国語・専門科目（専門課題Ⅰ・専門課題Ⅱ）のすべてを受験しないと失格になる。

(B) 口述試験

一人当たり数分程度の面接を行う。面接の使用言語は日本語または英語とする。

5. 試験日程

試験科目		日 時	携行品	備考（重要）
(A) 筆記試験	英語			スコア提出
	専門課題Ⅰ	8 月 29 日（火） 9:00～12:00	鉛筆、消しゴム、 鉛筆削り、コンパス、三角定規	
	専門課題Ⅱ 第 1 群	8 月 30 日（水） 9:00～13:00	鉛筆、消しゴム、 鉛筆削り、コンパス、T 定規 物差、着色用具、 三角定規	
	専門課題Ⅱ 第 2 群 第 3 群 第 4 群	8 月 30 日（水） 9:00～12:00	鉛筆、消しゴム、 鉛筆削り、コンパス、三角定規	
(B) 口述試験 （面接）		9 月 1 日（金） 9:00～14:00		集合場所・時間等の詳細は本専攻の Web サイト（ https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/ ）に掲載する。

6. 注意事項

- (1) 末尾の入学試験受験者心得（本専攻の Web サイトに掲載（<https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/>）をよく読んでおくこと。
- (2) 建築専門科目は試験開始後 30 分を過ぎての入室は、いかなる事情があっても認めない。
- (3) 受験票の写真で試験時に本人照合を行う。本人と確認できない場合は、失格となることがある。
- (4) その他、本専攻 Web サイト（<https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/>）で、試験会場を含む関連情報を周知するので、随時確認すること。

建築学専攻の指導教員と専門領域の一覧（教員名は五十音順）

教員名	所 属	系	専 門 領 域
赤司泰義 教授	工・建	環境	建築エネルギーシステム、建築熱環境、運用・管理、コミッションング
浅井竜也 准教授	工・建	構材	耐震工学、耐津波設計、鉄筋コンクリート構造
池田靖史 特任教授	工・建	意匠	建築情報学・建築設計
糸井達哉 准教授	工・建	構材	リスク・レジリエンス工学、荷重論、地震工学
今井公太郎 教授	生 研	計画	建築計画・建築設計・都市解析
伊山 潤 准教授	工・建	構材	鋼構造・耐久性工学・地震波動解析
岩船由美子 教授	生 研	環境	エネルギーシステム評価
海野 聡 准教授	工・建	歴史	日本建築史・東アジア木造建築史・文化遺産
大岡龍三 教授	生 研	環境	都市・建築環境工学(熱・空気・エネルギー)・サステナブルエンジニアリング
大月敏雄 教授	工・建	計画	建築計画・住宅地計画・ハウジング・住宅政策・復興デザイン
加藤耕一 教授	工・建	歴史	西洋建築史・近代建築史・建築理論
川口健一 教授	生 研	構材	構造解析・空間構造工学
川添善行 准教授	生 研	意匠	建築意匠・風景論
菊本英紀 准教授	生 研	環境	都市・建築環境、環境制御工学
楠 浩一 教授	震 研	構材	耐震工学・強震観測・鉄筋コンクリート構造
腰原幹雄 教授	生 研	構法	木質構造・建築構法
小山毅 特任准教授	工・建	構材	計算力学・耐水構造
権藤智之 准教授	工・建	構法	建築生産・建築構法
坂本慎一 教授	生 研	環境	建築音響・騒音制御
佐久間哲哉 教授	工・建	環境	音環境・建築音響・騒音制御・居住環境
田尻清太郎 准教授	工・建	構材	耐震工学・鉄筋コンクリート構造
舘 知宏 教授	総文研	構材	構造幾何学、コンピュータシミュレーション
谷口景一郎 特任准教授	工・建	環境	建築環境エンジニアリング、建築環境シミュレーション
千葉 学 教授	工・建	意匠	建築意匠・都市空間デザイン
豊田啓介 特任教授	生 研	意匠	デジタル空間記述・コモングラウンド
中埜良昭 教授	生 研	構材	耐震工学、鉄筋コンクリート構造、地震・津波防災
野口貴文 教授	工・建	構材	建築材料・資源循環・低炭素・耐久設計・維持保全・建築防火
林 憲吾 准教授	生 研	歴史	アジア都市・建築史、アーバンサステイナビリティ学
藤田香織 教授	工・建	構法	木質構造・伝統構法
本間健太郎 准教授	生 研	計画	建築計画・空間デザイン数理
本間裕大 准教授	生 研	計画	建築・都市計画、交通工学、社会システム工学、数理最適化
毎田悠承 准教授	震 研	構材	耐震工学・鉄筋コンクリート構造・損傷制御
前 真之 准教授	工・建	環境	建築環境 特にサステイナブル住宅のデザインと要素技術開発
松田雄二 准教授	工・建	計画	建築計画、医療福祉施設計画、ユニバーサルデザイン
丸山一平 教授	工・建	構材	建築材料学、極限環境材料開発、保全工学
三谷 徹 教授※	工・建	意匠	ランドスケープデザイン、空間形態論
三宅 弘恵 准教授	震 研	構材	地震工学・強震動・地震災害
安原 幹 准教授	工・建	意匠	建築意匠・建築設計
山田 哲 教授	工・建	構材	鉄骨構造・耐震工学・免震構造・制振構造
横山ゆりか 教授	総文研	計画	建築計画、環境行動・環境心理学、設計方法論
吉岡英樹 准教授	工・建	構材	建築防火工学、都市防火

（注）所属 工・建：工学系研究科建築学専攻 本郷
震 研：地震研究所 弥生
生 研：生産技術研究所 駒場Ⅱ

総文研：大学院総合文化研究科

駒場 I

系 構材：構造・材料系
※ 2025 年 3 月退職予定

受験番号 *1 Exam ID *1

*1 は記載しないこと / *1 Do not fill in

受験者氏名 Examinee Name

State specific research details for the interview. You can make by PC (One A4 size sheet, single side printing) and attach.

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

Applicants must select up to three prospective academic supervisors from the table on pages 4 & 5 of "2024 Guide to the Master's Program Entrance Examination Department of Architecture, Graduate School of Engineering, The University of Tokyo" and write their names in the following table.

	第一希望 1st choice	第二希望 2nd choice	第三希望 3rd choice
教員名 Academic supervisor's name			

入学志願者案内 4. 選抜方法の(A)筆記試験参照 Refer to 4 (A) in the guide

專門課題Ⅱ Special Subject II	第1群	第2群	第3群	第4群

(建築学専攻)
(Department of Architecture)